

ROTORARY CLUB OF **NARITA AIRPORT MINAMI** DISTRICT 2790 **WEEKLY BULLETIN**
国際ロータリー第2790地区第6分区
 創立 昭和11年10月6日 承認 昭和41年11月21日
 成田空港南R.C. 会長テーマ **小さな親切** **さすな**
 例会日時 毎週木曜 12:30点鐘 (最終例会 18:30点鐘)
 例会場 中国ダイニク富士屋
 事務局 〒280-1792 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6 URL <http://www.narita-airport-m-re.jp>
 TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178 E-mail info@narita-airport-m-re.jp
 第2790地区ガバナー 中村 博真 第6分区ガバナー補佐 西之宮 由己
 平成21年10月22日発行 NO.1907 第2035例会 会長 鈴木 恭一 幹事 古西 弘和 会報担当 伊藤 元雄

例会報告(平成21年10月22日)

点 鐘 会 長 鈴木恭一
 ソ ン グ 「それでこそロータリー」
 唱 和 「四つのテスト」
 会 長 挨拶 会 長 鈴木恭一
 会 務 報 告 会 長 鈴木恭一
 幹 事 報 告 幹 事 古西弘和
 プ ロ グ ラ ム

卓話 地区職業奉仕委員 富 一美
 委員会報告

会務報告

- 1) 10月24日(土)・25日(日)は地区大会です。今年、ガバナーの出身地の柏で行われます。24日は会長・幹事を対象とした会議。25日は本会議で一般の会員が対象です。場所は、麗澤大学キャンパスで、今大会の記念講演の講師は、筑波大学名誉教授の村上和雄さんです。テーマは「喜びや感動が可能性を引き出す」～遺伝子ONの生き方～ということです。25日の地区大会に参加される方々はバスの時間に遅れないようにしてください。(先週事務局より日程表を送ってあります) 予定通りよろしくお願ひします。
- 2) 11月17日 開催される東金RC・東金ビューRC・成田空港南RC 合同ガバナー公式訪問の打合せに10月16日東金エスターレホテルに、会長・幹事で行ってまいりました。後日、幹事、又事務局より報告申し上げます。
- 3) 奉仕プロジェクト委員会主催の鮭の稚魚の放流についての報告を後日、奉仕プロジェクト委員会 秋葉・大竹担当よりご報告申し上げます。以上で挨拶と会務報告を終わらせていただきます。

会長挨拶

皆さん こんにちは。

例会が2週間空いた間に秋も深まり、朝夕に寒さを感じるようになりました。各地で紅葉の便りが聞こえてきます。いよいよ食欲の秋です。お互い食べすぎには十分注意いたしましょう。

本日は、地区職業奉仕委員であり、クラブ職業奉仕委員長の富一美会員に「職業奉仕月間について」の卓話をお願いしてありますので、後程よろしくお願ひいたします。

職業奉仕はロータリー特有の奉仕活動です。「超私の奉仕」の心を、各自の職業を通して、社会に貢献していくことがロータリーの目的の1つです。その為には、各自は事業者として、又専門職としての高い倫理感を持つように努力したいものです。

この所、卓話の時間がかなり手短に済ませています。本日の卓話に十分な時間を残したいと思いません。



幹事報告



- ①第2790地区ガバナー・エレクト事務所開設のご案内
 所在地 〒288-0041
 銚子市中央町13-2 ヤシベル3F
 TEL : 0479-26-3380 Fax : 0479-25-6665
 E-mail : 10-11gov@rid2790.jp
 執務時間 : 午前10時～午後5時 (土日祝はお休み)

- ②11月のロータリーレートは1ドル=90円です。
- ③『友』インターネット速報2009年10月20日No.401-402・ハイハイよねやま116号(2009年10月13日発行)が届いております。
- ④10/25(日)地区大会のバス乗車場所と時間の案内
- ⑤本日例会終了後にCLP委員会を行います。委員の方は出席をお願い致します。
- ⑥週報受領クラブ
 - ・八日市場R.C. ・多古R.C.
 - ・小見川R.C. ・銚子R.C.
 - ・大原R.C.

◇ クラブ広報委員会



委員 齋藤 逸朗

8月26日に行われました、地元少年野球団(東陽スポーツ少年団と芝山リトル)との野球観戦の記事を地域情報紙よみうりさんむサイト(発行:(有)齋藤新聞店 代表 齋藤逸朗)に掲載させて頂きました。

■ 委員会報告

◇ 第6分区社会奉仕委員長会議報告



報告者 会員増強委員長 土屋 俊夫
奉仕プロジェクト委員長 越川 博光

平成21年10月14日 大和屋旅館にて開催

出席者:地区社会奉仕委員 吉田幸男氏

元地区社会奉仕委員長

(大多喜R.C)渡辺多美子氏

各クラブ 会長

社会奉仕委員長

奉仕プロジェクト委員長

合計19名

議題

1. 各クラブ社会奉仕委員会の現状について

吉田地区社会奉仕委員より社会奉仕についての説明と地区社会奉仕委員会の位置づけに関する説明がありました。越川奉仕プロジェクト委員長により当クラブの活動実績報告がありました。

2. CLPについて

当クラブにおけるCLPの取り組みを土屋が説明いたしました。CLPについての質問に関しては理解できる範囲にて回答いたしました。各クラブとも前向きに取り組んでいました。

3. その他

予定の時間が過ぎ懇親会の席にてとなりました。

■ ニコニコボックス

富一美君

…昨日の八街RCに続き自クラブでも卓話をさせてくださいありがとうございます

川島宥君

…本日の例会日と私の誕生日が一致したので青柳誠君・鈴木恭一君・秋葉講一君・倉石昌治君

…富会員卓話をありがとうございました

高田一行君

…家庭菜園で野菜がたくさん収穫できました

齋藤逸朗君

…少年野球チームの野球観戦事業を情報紙に掲載させて頂きありがとうございます

本日計	11,000円
累計	306,816円

■ 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
10月22日	47	31	16	100.0

☆ 欠席したらメイクアップをしましょう ☆

卓話

職業奉仕にかかわる卓話

地区職業奉仕委員
富 一美



皆さんこんにちは。

本日は、地区職業奉仕委員の立場で職業奉仕に関する卓話をさせていただきます。私自身も勉強を兼ねて、皆さんと一緒に職業奉仕について考えてみたいと思っております。どうぞ宜しくお願いを申し上げます。

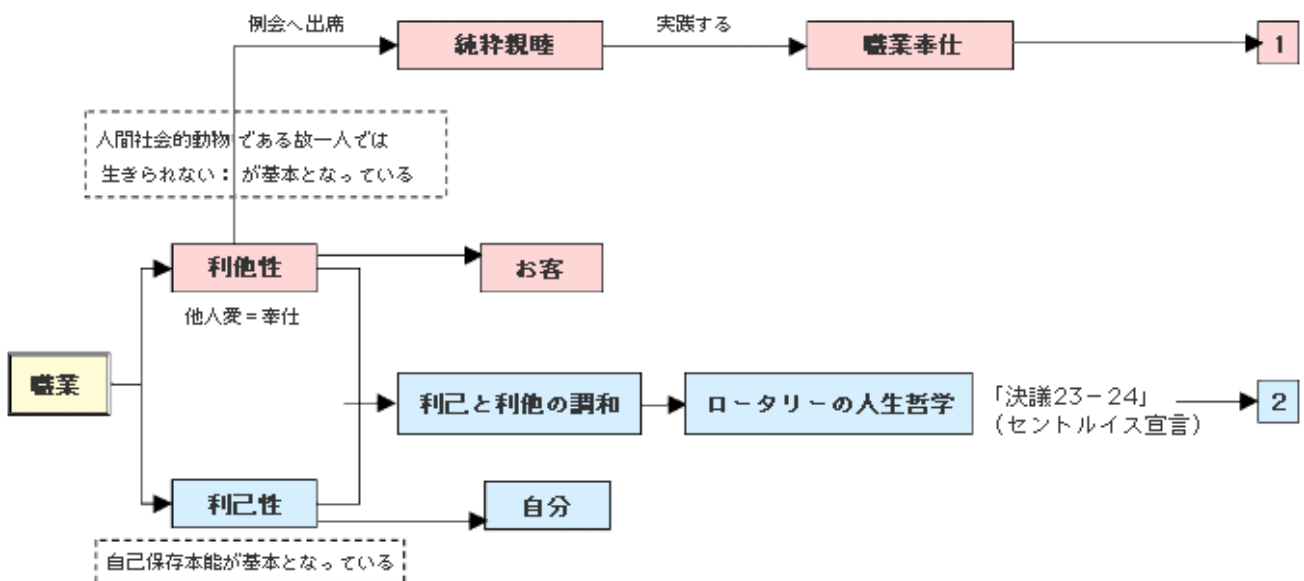
さっそくですが、職業奉仕は難しいとか、分かりにくいとか、と言った言葉をよく耳にしますが、それはただ先入観から難しいもの、或いは、分かりにくいものと思込んでしまっているからではないのでしょうか。確かに、職業奉仕に関する冊子を読んでも、難しい言葉で書かれておりますので

(例えばシェルドンの職業奉仕の理念の解説等)最後まで中々理解をしにくいわけでありまして。従って、分からないまま終わってしまうというような、そんな事の繰り返しであったのではないかと思います。そこで今回皆さんにロータリーの職業奉仕の全体像を、おぼろげながらも良いから、つかんでみたいと思います。そして徐々にそれらに枝葉をつけて、自分に分かるように充実したものにしていきたいのであります。そのおぼろげながらの全体的理念の流れは、皆さんのお手元にあらか

じめ配布してあります絵図のような形になります。ルート(1)が職業奉仕、ルート(2)がロータリーの基本であります。概ねこのようなフロー図になるかと思います。ロータリーの奉仕には、人間は一人では生きられない、そのことから生れて来る人間愛、すなわち「世の為、人の為に」を考える力「利他」、言い方を変えますと、利他の心(他人の為に成ろうとする優しい心)、もう一つは自己保存本能からくる「自分の為に」を考える力「利己」、言い方を変えますと利己の心(自分だけ良ければ良いんだと言う心)があってこの相反する両者を併せ持つことを、ロータリーでは調和と呼んでおります。すなわち、利己と利他の調和こそロータリーの基本であります。

シェルドンは、奉仕の哲学を紐解くときに、奉仕のことを「利己と利他との調和せしむる心の場」つまり心の修練の場を意味すると言っております。又、ロータリーの標語の一つになっております「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」は、成功する商売の道は、奉仕することにかかっている。これは、どんな取引でも買い手と売り手双方に利益をもたらすものでなくてはならない、という実践理論の原理から出たものといわれているのは、皆さんご存知のとおりであります。

人様の為になる事それが奉仕であり、この利他性(利他の心)から生れて来る奉仕を、もっと先へたどってみますと、フロー図では「純粹親睦」につながっております。これは単なる感性的な親睦(フレンドシップ)ではなくて、精神的な親睦(フェロウシップ)を意味します。この過程では、ロータリー



ルート1を鼓吹育成する啓蒙活動をするのが職業奉仕委員会活動である

には週一回の例会がございます。他にもいろんな団体があって職業奉仕とよく似たような名称もありますが、ロータリーの例会を通じての奉仕活動に至るのは、ロータリーだけであります。又、上下のへだて無く対等で話合えるこの例会の場というものは、ロータリーに於ては絶対的なものでありまして、この場で、人生経験を積んだ素晴らしい方々と話をすることにより、自己の心を磨き、奉仕の発想を交換することによる親睦は、ロータリーだけのものがあります。これ等の行為を「純粹親睦」と呼んでおりまして、一般の親睦と一線を画しております。この例会をへて何かを学んで職場に戻り、実践することにより、職業、すなわち職業奉仕を通じて社会に奉仕する事が可能なわけでありまして、フレデリック・シェルドンのいう奉仕の哲学を体得する修練の場がロータリーの主とした活動であり、また、例会で培養された奉仕の心を持って職業生活の場で実践に移すこと、そして自己研鑽しながら職業生活に適用することなど、この活動が職業奉仕になるわけでありまして、「入りて学び、出でて奉仕せよ」まさにこれが、ルート（1）の意味するところでありまして。

従って職業奉仕は、社会奉仕、クラブ奉仕、国際奉仕と違って直接的なものではありません。そして受益者は、ロータリアンであり、職業奉仕を実践した結果得られるものが、道徳規準であることです。職業奉仕の実践は結果として高い職業倫理に繋がります。難しいのは、職業奉仕は、活動が目に見えない陰徳だという点にあります。この奉仕は、その個人個人の職業生活の中に組み込まれてしまっておりまして、外からは見えません。然し、本当の奉仕というのは、目に見えない陰徳である筈です。

以上で、大まかな理念の流れをお話させていただきました。このフロー図を頭に入れておけば、自ずと理念はおぼろげながらも理解が出来て行くことと思っております。後は冊子など、特に「ロータリーの友」や先輩の話の中から、ある部分をつかみとっていただき、枝葉としてゆけば、職業奉仕活動は、やがてはっきりして来るものと思っております。

さて、最近の国際ロータリーでは、量的な会員増強や拡大を当面の目標とし、ロータリー財団活動を基盤として、国際奉仕活動に力を注ぐ傾向にありました。ところが、2002～03ビチャイ・ラクタルRI会長の就任を機会としまして、長期的な視点から、内面の質の本格的な充実をはかることが、会員

の増強と退会の防止に有効であるとの見解に立ち、サービスの理念とこれに基づく職業奉仕の考え方の価値に関する会員の関心と認識を高めねばならないとの反省に立った活動が活発になりました。まず、それをいくつかの項目に分けて皆さんと考えてみたいと思います。

1. 職業奉仕への視点から考えてみますと

冒頭に申し上げました通り、職業奉仕はロータリーの生命であり、金看板である、といわれております。ところが、職業奉仕は、従来から、難しくてよくわからないといわれ、敬遠をされてまいりました。また、最近のロータリーでは、具体的な奉仕活動が強調される反面、職業奉仕への関心が希薄になっていると指摘され、さらに、RIにおいては、いろいろな角度から、職業奉仕はロータリーの拡大や増強の妨げになっているといった、ロータリーの原点から逸脱した極端な意見すら聞かれるようになってきているといわれております。

そこで、ロータリーの原点に立ち戻り、職業奉仕の重要性について、皆さんと根本から検討を加えて、考え直さなければならないと思っております。

2. 職業奉仕の基礎としてのサービスの理念から考えてみますと

皆様ご存知のように、人は、他人の存在を前提として生きる精神的存在であります。従って人は、自分のためだけでなく、他人のためになるように誠実に他人に尽くすことによって、はじめて自分の幸せを手に入れることができると思っております。つまり、サービスをしたいという願望は、宇宙の摂理（自然の法則）を認識できる人間のたどる道でもあり、利他の心を持って他人の成功を願うということも、自らが成功への道を歩んでいるということでもある、ということです。そして、そのような人々によってはじめて幸せな良質の社会が築かれていくということです。このような考え方が、綱領で定められているロータリーの基本精神である「サービスの理念」であります。ロータリーは、このような考え方が、ロータリアン各自の個人生活をはじめ、ひろく人間社会に実現していくことを意図して活動をしております。もっとも、この「サービス」という考え方は、ロータリーだけが独占するという物ではなくて、本来的に申し上げますと、人間社会の根底に横たわる基本的な真理であるとされておりまして、ロータリーは、率先してその認識と実現を提唱して

いるわけでありませう。このことが、人間社会がどんなに激しく変化をしても、ロータリーの存在意義が厳に不変である所以であります。そしてまた、ビジネスの科学としてサービスという考え方をロータリーの世界にはじめて導入したフレデリック・シェルドンの「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」や、これをより簡潔にしたフランク・コリンズの「超我の奉仕」の各モットーが不変である所以でもあります。

3. 職業と職業奉仕について考えてみますと

ロータリーでは、サービスの理念を基本として、職業の価値を深く認識して職業の道徳的水準の目標を高く設定するとともに、具体的職業活動にあたってはその目標に向けて最も良質の努力を尽くすことによって、他人のために尽くすことを実現すべきものとしております。これが、職業奉仕という考え方の原点であると思ひます。ロータリーにおいては、人間社会は、人々の需要を満たす職業の集まりであるとしております。職業は天すなわち社会から与えられた天職であるとされる所以であります。従ひまして、ロータリーにおいては、職業は、社会に貢献するための単なる手段の一つではなく、職業奉仕自体が社会に貢献することとらえてあります。これが職業奉仕を社会奉仕と区別する基本的な理由でもありますし、ロータリーが単なる社会奉仕団体ではないとする理由でもあります。そして、このことは、職業奉仕とは、ロータリアンでない人を含むすべての人たちに、職業上のあらゆる関係においてサービスの理念を分かち合うロータリアンの責務であるとも言われる所以であります。

4. 職業奉仕の捉え方とその具体的表現について考えてみますと

申し上げるまでもなく、職業奉仕は、サービスの理念を基本として、職業の道徳的水準を高めること、そして社会に有用な業務が尊重されるべきであるという認識を深めること、そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために業務を品位あらしめること、と綱領において表現をされております。この内容を、総論と各論の2つに区分しますと次のようになると思ひます。

総論としましては、職業の道徳的水準を高めることと、社会に有用な業務は尊重されるという認識を深めることという部分であります。これは、社会に存在するすべての役に立つ職業は、世の中の人々が求める必要な需要を充たすために存在するものでありますから、すべてが価値があるものであるということとを深く認識して、顧客、仕入先、雇主、従業員、共同経営者、同僚、同業者その他の職業の関係者や社会一般の人々との関係の公正なあり方を正しくとらえることも含めて、職業の道徳的水準の目標を高く設定することとあります。

各論としましては、ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために業務を品位あらしめるという部分であります。これは、ロータリアン各自の具体的な個々の職業活動において、関係者の需要や立場を思いやりの心で正しくとらえ、総論で述べた職業の高い目標を十分満たせるように最も良質の成果を提供するよう努めることとあります。

このような職業奉仕をさらに具体的にわかり易くする表現として、「ロータリアンの職業宣言」があり、職業奉仕の内容を具体的に強調するものであります。また、1954-55年度の会長ハーバード・J・テイラーは、1932年、倒産寸前の会社を救済するため、「四つのテスト」を提唱して関係者に配布し、見事にその会社を再建し発展させました。爾来この「四つのテスト」が、ロータリアン各自が自己の職業奉仕を自己評価する尺度として、決定的に重要な機能を果たして今日に到っていることは、皆様よく御承知の通りであります。

この「四つのテスト」は、現在職業奉仕プログラムに組み込まれておりまして、今日では4大奉仕部門の全てにおける重要な要素に成っております。しかし、本来これは純然たる経営上の指針である事に留意をしなければなりませんで、そのためにはその使用を事業上の取引に限定すると共に、翻訳や解釈を厳密にする必要があるとしております。

ここに、私なりにハーバードが意図している「四つのテスト」チェックリストについて、一つ一つをロータリアンの職業宣言に照らし合わせて紐解いてみました。これはすでに私が会長の時に皆さんにご配布させていただきましたが、本日改めて復唱してみたいと思ひます。

言行はこれらに照らしてからの

1、真実かどうかについて、4つの項目を当てはめてみました。

①良心的な仕事をしているか

- ②公正適法な仕事をしているか
- ③良い商品、良いサービスを提供しているか
- ④社会の信用を得ているか

2、みんなに公平かについて、5つの項目を当てはめてみました。

- ①フェアプレイで仕事をしているか
- ②社会的公正に反していないか
- ③公正な人事を行っているか
- ④公正な取引をしているか
- ⑤不公平な取り扱いをしていないか

3、好意と友情を深めるかについて、5つの項目を当てはめてみました。

- ①親切なサービスに努力しているか
- ②同業界における職業道徳の向上に寄与しているか
- ③良き隣人であるか
- ④従業員に敬愛されているか
- ⑤国際理解の増進に寄与しているか

4、みんなのためになるかどうかについて、7つの項目を当てはめてみました。

- ①自分の仕事が社会のためになるか
- ②公害防止や環境保全に努力しているか
- ③住民に迷惑を及ぼしていないか
- ④雇用の安定に努力しているか
- ⑤良き納税者であるか
- ⑥資源を無駄使いしていないか
- ⑦従業員教育に努力しているか

以上が、私なりに紐解いてみました「四つのテスト」のチェックリストです。

5. 職業奉仕とクラブについて考えてみますと

職業奉仕は、1989年に採択された理事会の「職業奉仕に関する声明」によって、クラブと会員の双方の責務とされております。もちろん、地区の責務でもあります。職業奉仕が会員個人の責務であることについては、これ以上の説明の必要がないと思います。

じつは、この中に書かれている「クラブが職業奉仕を実践する」という文章について疑義が生まれてきます。なぜならば、フレデリック・シェルドンの職業奉仕理論の中からは、クラブが職業奉仕の実践を行うという発想は出てこないからです。職業を持っている個人だから職業奉仕の実践が出来るので在って、職業を持たないロータリークラブがどうやって職業奉仕の実践をするのかということでもあります。

このことはさて置きまして、前期の二つのモットー、ロータリーの職業宣言、四つのテストなどをクラブの週報に記載し、例会場やクラブ会合の場所に掲示し、新入会員の選考や教育で強調することなどは、クラブの職業奉仕活動として大切な配慮ではないのでしょうか。

6. 職業奉仕の社会に対する影響の現状について考えてみますと

ロータリーが提唱する、このような職業奉仕の精神と活動は、現在果たして期待する効果を挙げているのでしょうか。近頃世界の各地域において、社会的に影響のある人達の個人的な非行や大規模企業の衝撃的な不祥事が続発していることは、皆様よくご承知の通りであります。さらに深刻なことは、社会の各層各面において絶え間なく発生している大小様々な慢性的な不祥事であります。過酷で倫理に背を向けた競争は、社会と企業の秩序の破壊を限りなく進行をさせております。

7. 今後における職業奉仕のあり方について考えてみますと

先に述べた不祥事の続発する事態に対するロータリーの対応は、申すまでもなく職業奉仕活動の強化であります。その努力は、会員自身に関する努力と会員以外の外部に向けた努力とに区分されます。前者は、本来のクラブ活動のほか、いろいろな職場見学、経営理念や職業奉仕事例の研究などで、もっぱら個人としての努力でしょうが、後者は、サービスの理念に基づく職業奉仕の考え方や活動を、自分個人だけではなく、会員が関係する企業体その他公私の団体と、地域社会からさらに広域の社会へと拡大し、自分が関係する周囲の経営環境や生活環境に強力に働きかける努力であります。そのような人間教育を基礎として、私どもは、はじめてロータリーの「サービスの理念」とこれに基づく職業倫理を私どもの心の中に確立することができるものと思われま

す。そして、ロータリアン各自が、職業奉仕の原点の自覚を深めながら、時代の変化に即応したそのあり方をしっかりと身につけることによって、真の会員の保持と増強が実現して行くと考えられるものであります。

ちょうど、切りの良い時間でございますので、これを持ちまして私のつたない職業奉仕に関する卓話を終了させていただきます。

ご静聴ありがとうございました。

10/24・25 地区大会

麗澤大学キャンパス

地区委員会報告

第2790地区増強拡大委員長

(成田空港南RC) 菅井 直秀

会員増強拡大委員長の菅井直秀と申します。宜しくお願い致します。

中村年度は、ガバナーの指針により、CLP導入を各クラブが取り組んでおります。

これは会員の減少が、日本ばかりでなく全世界に広がっていると言う時代の流れをストップすると共に、ロータリーの活性化と会員増強を考えての事です。そして、各クラブは地域密着型のロータリークラブにすべきだと思います。本年度より会員増強拡大委員会を常任委員会としてメインに組織された、と解釈しております。

会員増強で一番大切な事は、ロータリアンひとり一人の意識の改革であります。ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であります。そして、エリートとして心に秘めた誇りを持つ事だと思います。会員増強は、ロータリアン最大の奉仕であり責任であります。またロータリー最大の財産は、ロータリーの会員であります。よって、会員はロータリーの基本哲学を学ばなければ、会員増強はできないと思います。

ロータリーの綱領と四つのテストを十分に理解することが大切であります。毎例会研修リーダーが中心になり、5分でよいからロータリーの基本について繰り返しくりかえし、心を高め人格を高めるべく研修することが大切であります。ですから、例会は勉強会と心得てください。

各クラブとも、純増1名達成を必ずお願い申し上げます。会長のやる気一つで純増はできます。頑張ってください。



中村ガバナーより各分区ガバナー補佐の紹介



中央右 / 成田空港南RC長寿ロータリオン 小沼孟会員



四つのテスト

～言行はこれらに
照らしてから～

1. 真実かどうか

- ①良心的な仕事をしているか
- ②公正適法な仕事をしているか
- ③良い商品、良いサービスを提供しているか
- ④社会の信用を得ているか

2. みんなに公平か

- ①フェアプレイで仕事をしているか
- ②社会的公正に反していないか
- ③公正な人事を行っているか
- ④公正な取引をしているか
- ⑤不公平な取り扱いをしていないか

3. 好意と友情を深めるか

- ①親切なサービスに努力しているか
- ②同業界における職業道德の向上に寄与しているか
- ③良き隣人であるか
- ④従業員に敬愛されているか
- ⑤国際理解の増進に寄与しているか

4. みんなのためになるかどうか

- ①自分の仕事が社会のためになるか
- ②公害防止や環境保全に努力しているか
- ③住民に迷惑を及ぼしていないか
- ④雇用の安定に努力しているか
- ⑤良き納税者であるか
- ⑥資源を無駄使いしていないか
- ⑦従業員教育に努力しているか